

高橋教授の この人に 会いたい

Vol.8
ゲスト **細野不二彦**氏
漫画家



近年、人工知能(AI)は囲碁や将棋といった特定の分野だけでなく、生活全般にまで取り込みが進んでいる。AIを搭載した大型ロボットを題材にした漫画『バディドッグ』の作者、細野不二彦さんと、高橋泰・国際医療福祉大学医療福祉学部部長が、AIの進歩とそれに伴う人とのかわりについて語り合った。

リアリティある 『バディドッグ』のAI

高橋 細野先生の作品は『ダブルフェイス』以来、注目しており、『いちまつ捕物帳』なども大好きな作品です。

まず細野先生は漫画家としてのスキルやノウハウを、どうやって身につけてこられたのですか。

細野 漫画家は週刊誌の連載を担当すると、膨大な量の漫画を描かないといけないので、ぐんと力がつくんです。最初は試行錯誤ばかりでタッチが安定しないのですが、描いているうちに理想的なタッチがつかめてきます。そうすると、ヒット作につながります。

高橋 先生の作品の魅力は、『ダブルフェイス』の小品や、『いちまつ捕物帳』の江戸の庶民の生活の描写など、非常に深いレベルの専門知識がなければ描けないストーリーのつくりにあると思います。どうやってこのような専門知識を入手されているのですか。

細野 もちろん自分でも相当勉強をしますが、私の場合、作品に応じたその道のプロのアドバイザーが作品ごとについております。今回の『バディドッグ』も、AIについては知識ゼロからのスタートだったので、連載当初は四苦八苦の連続でした。私もバドと同じようなプロセスで、描き進めていくにつれて成長していくのではないかと感じています。

高橋 だから作品にリアリティがあるんですね。今回の『バディドッグ』を読んで感心したのも、バドの行動にすごくリアリティがあるところですね。たとえば、史上最強のAIであるバドは、得意の強化学習機能を駆使して、短期間で将棋は人間の現役の名人より強くなった。一方、動作がぎこちなく



人がAIの進化に 適応し AIが人の知的活動を

サポートすれば「共存」可能

高橋 泰 Tai Takahashi
国際医療福祉大学大学院・教授

たかはし・たい●1986年、金沢大学医学部卒業。同年、東京大学病院第1第3第2内科・麻酔科で研修。92年、同大学医学部医学系大学院医学博士課程修了(医学博士)後、米国スタンフォード大学に留学。94年、ハーバード大学公衆衛生校に武見フェローとして留学。97年4月、国際医療福祉大学医療福祉学部医療経営管理学科教授。2009年から現職。16年9月より安部内閣未来投資会議の構造改革徹底推進会合医療福祉部門副会長。

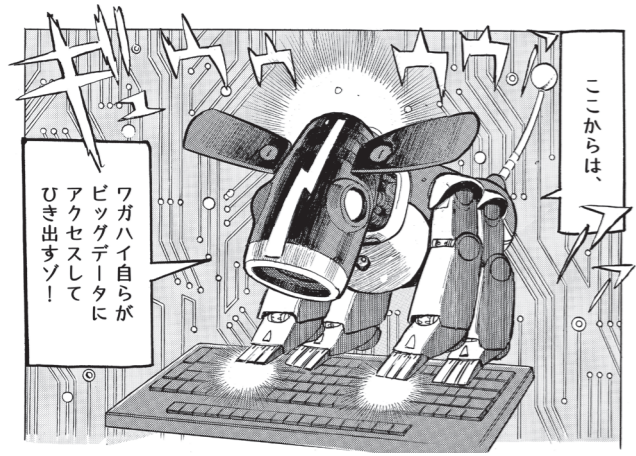
細野不二彦 Fujihiko Hosono
漫画家

ほその・ふじひこ●1979年デビュー。「週刊少年サンデー」誌上にて、『さすがの猿飛』、『どっきりドクター』、『GU-GUガンモ』などを連載。90年代以降、青年漫画に執筆の場を移し、『太郎』、『ギャラリーフェイク』で第41回小学館漫画賞を受賞。現在『ビッグコミック』誌上で『バディドッグ』、『ビッグコミック増刊』で『ギャラリーフェイク』、『月刊ヒーローズ』で『さすがの猿飛G』を連載中

将棋の駒を上手く将棋の升におかず、駒を落としてしまうような描写がありました。まさに現在のAIの状況をリアルに表現していると大いに感心しました。

現在のロボットと ドラエモンとのギャップ

高橋 漫画の世界では、昔から「鉄腕アトム」や「ドラえもん」といった人型ロボットがお馴染みですが、バドはこれらとは異質の、新世代



『バディドッグ』
自我を持ち人と会話思考し、最適解を出すAI搭載の大型ロボット

米国防総省から逃亡した最強の人工知能(AI)・ゴレムが2019年、かつて量産された大型ロボット・バディドッグ、通称「バド」を端末(ボディ)として獲得し、家電メーカーでバドの修理点検をする部署にいる主人公のもとに現れる。AI搭載のバドを預かることで、平凡な主人公一家の生活は右往左往させられることに……。AI搭載の自律型ペットロボット、バドは独自の自我を持ち、音声合成ソフトを通じて人と会話ができる。アルファ碁や自動運転車など、音声認識やシナリオペールのやりとりといった解析ツールにとどまった段階のいわゆる「弱いAI」ではなく、自分で問題を設定、思考し最適の解を出すことができる、「強いAI」という設定だ。リアルワールドで情報を収集、解析することで身体感覚、人間の感情などを獲得していく。

©細野不二彦/小学館『ビッグコミック』

まず経済的にペイしづらいし、事故の責任もロボットがとれないので、実用化には相当の時間がかかるでしょう。2030年では、とても無理でしょう。当面对人サービスに関するAIの応用は、

高橋 医療や介護の現場に人と直接接触して自ら判断して治療や介護を行うロボット型のAIが入ってくるのは、かなり先のことだと見込んでいます。

医療現場へのAI導入は もつと進化が 必要

——高橋



高橋 AIについての考えが、また深まりました。有意義なお話を聞くことができ、本日はありがとうございました。

高橋 AIが人間の代わりに仕事をできるようになると、社会にどのような影響を与えとお考えになりますか。

細野 根深い問題ですが、突き詰めるか、「AIは何のために存在するのか」を問うということでしょうね。経済的視点からすると、AI

高橋 AIが人間の代わりに仕事ができるようになると、社会にどのような影響を与えとお考えになりますか。

細野 認知症の患者さん向けの会話ロボットなども開発されているようですね。

高橋 AIの音声認識機能が発達してきているので、コミュニケーション・ロボットは、すでにかなり実用化されています。また記録の自動化、治療計画やケアプラン作成などの人と非接触分野での実用化は、そう遠くなく、2025年

AIの医療介護への 実用の可能性

細野 現在、IoTが普及し始め、あらゆる機械がコンピュータで管理できるようになってきました。いずれは病院施設もAIがコントロールするようになるかもしれません。それは、まさにSFで描かれていた世界の風景です。看護師や介護士の力仕事を代替するロボットの開発構想もあるようです

高橋 AIの音声認識機能が発達してきているので、コミュニケーション・ロボットは、すでにかなり実用化されています。また記録の自動化、治療計画やケアプラン作成などの人と非接触分野での実用化は、そう遠くなく、2025年

高橋 AIが人間の代わりに仕事をできるようになると、社会にどのような影響を与えとお考えになりますか。

細野 根深い問題ですが、突き詰めるか、「AIは何のために存在するのか」を問うということでしょうね。経済的視点からすると、AI

高橋 AIが人間の代わりに仕事をできるようになると、社会にどのような影響を与えとお考えになりますか。

高橋 AIが人間の代わりに仕事をできるようになると、社会にどのような影響を与えとお考えになりますか。

高橋 AIが人間の代わりに仕事をできるようになると、社会にどのような影響を与えとお考えになりますか。

高橋 AIが人間の代わりに仕事をできるようになると、社会にどのような影響を与えとお考えになりますか。

高橋 AIが人間の代わりに仕事をできるようになると、社会にどのような影響を与えとお考えになりますか。

高橋 AIが人間の代わりに仕事をできるようになると、社会にどのような影響を与えとお考えになりますか。

AIは人間の知の 領域を広げてくれる 存在

——細野



高橋 プロ棋士の依田紀基九段とも当連載で対談したのですが、アルファ碁のインパクトは大きかったですよね。実際のAIも日進月歩しているわけですが、『バディドッグ』は、どのくらいの未来という設定なのですか。

細野 はっきり設定しているわけではありませんが、そう遠くない未来ですね。AIが自然言語能力や、プログラムされたアルゴリズム

高橋 ドラえもんで描かれていた未来の世界は現在と近いのです

高橋 気になっているのは、「AI

高橋 AIが人間の代わりに仕事をできるようになると、社会にどのような影響を与えとお考えになりますか。

高橋 AIが人間の代わりに仕事をできるようになると、社会にどのような影響を与えとお考えになりますか。

高橋 AIが人間の代わりに仕事をできるようになると、社会にどのような影響を与えとお考えになりますか。

高橋 AIが人間の代わりに仕事をできるようになると、社会にどのような影響を与えとお考えになりますか。